

平成 21 年度第 1 回新潟市地域公共交通会議西区分科会 会議概要

開催日時	平成 22 年 2 月 2 日（火）午前 10 時～午前 11 時
会 場	西区役所本館 3 階大会議室
出席者	別紙出席者名簿のとおり（出席者 12 名）
事務局	地域課長補佐 ほか 3 名
主な議事	<p>1 <新潟市地域公共交通会議西区分科会設置要領の変更について></p> <p>○新潟市地域公共交通会議西区分科会設置要領の平成 21 年 4 月 1 日付け改正について説明しました。主な改正点は次の 2 点です。</p> <p>①新潟市ハイヤー・タクシー協会の代表を委員に追加したこと。</p> <p>②事務局の課名を、西区政策企画課から西区地域課へ変更したこと。</p> <p>■質疑応答 なし</p>
	<p>2 <平成 21 年度西区・区バス運行概要について></p> <p>○平成 21 年度の運行について、資料に基づき、事務局が説明しました。</p> <p>■質疑応答 なし</p>
	<p>3 <平成 22 年度西区・区バス運行計画について></p> <p>○平成 22 年度の運行について、資料に基づき、事務局が説明しました。特に、黒埼ルートを廃止する場合には、区報や区バス車内、ルート内主要施設で充分広報を行い、混乱の無いよう対応する旨説明しました。</p> <p>○黒埼ルートは、収支率の低迷から廃止することとなりました。なお、中野小屋ルートについては、変更ありません。</p> <p>○黒埼ルート廃止により、今後、地域からバス運行の要望が高まれば、住民バスなどによる運行方法を再検討していくこととなりました。</p> <p>○高齢者や障がい者のための福祉制度に関する資料を、後日、黒埼地域の各コミュニティ協議会へ送付することとなりました。</p> <p>■質疑応答</p> <p>（小出委員）</p> <p>中野小屋ルートについては、継続運行ということで感謝している。乗車する人は限定されているが、今後も少しでも増加するよう PR などに努めていきたい。</p> <p>（谷井委員）</p> <p>黒埼ルートは、廃止で止むを得ないが、今後、要望が高まってきたら住民バスなどの運行を検討してほしい。なお、廃止後、区役所へ行く場合、交通手段のない方への対応はあるのか。</p> <p>（事務局）</p> <p>健常者の方であれば、路線バスの乗り換えによって対応してもらいたい。障がい者の方については、タクシーチケットなどの福祉制度にて対応してもらいたい。</p> <p>（谷井委員）</p>

当初、市長から交通弱者については、不便の無いように対応すると聞いていた。しかし、利用率からも廃止はやむを得ない。今後は新たな対応策も考えてほしい。

(青木委員)

地元での説明会の際にも、高齢者・障がい者には、配慮してほしいという意見が出てきた。今後もそういう話が出できたら相談したい。

(島田委員)

障がい者への補助制度については、健康福祉課が窓口でよろしいのか。具体的な手続き方法はあるのか。

(事務局)

健康福祉課に申請してもらい、サービスを受けてもらう。福祉制度に関する資料を後日、黒埼地域の各コミュニティ協議会へ送付する。

4 <平成21年度坂井輪コミュニティバス運行概要について>

○平成21年度の運行について、資料に基づき、事務局が説明しました。

■質疑応答 なし

5 <平成22年度坂井輪コミュニティバス運行計画について>

○平成22年度の運行について、資料に基づき、事務局が説明しました。

○時刻表について、今年度末に開通が予定されている寺尾線の影響を見極め、調整の必要性を判断することとしました。

○本間委員より土日祝日の運行状況や今後の予定について報告がありました。

■質疑応答

(緒形委員)

今年度末に寺尾線が開通し、信号も整備される。交通状況が変わることが想定され、時刻表にも影響してくることが考えられる。

(本間委員)

現在の運行は、バスが定刻よりも少し早くバス停に着き、時間調整を行っている場合もあるため、開通後の状況を見てから判断していきたい。

(松原委員)

五十嵐1の町交差点（ガスト脇）の渋滞も寺尾線開通により変化が見られそうか。

(緒形委員)

当該交差点に関しては、以前から信号に矢印を付ける旨の要望があるが、右折レーンがなく不可能である。今後の寺尾線開通により、流れが変わるかもしれない。

(松原委員)

将来的には、新潟大学にも延伸してもらえると助かる。

(本間委員)

運行経費と乗車率が合わないと運行できない。今後検討したい。

(神戸会長)

土日祝日の実証運行の状況はどのようなものか。

(本間委員)

現在、実証運行しているが、利用者は少ない。また、今回の運行は、内閣府の「地方の元気再生事業」として実施しているが、来年度は当該事業が打ち切られると聞いている。単独での土日祝日運行は難しいので、今後は、平日の早朝や夜間運行などについて検討していきたい。

(飯塚委員)

アピタやサティでは、土日の来客数が多く、駐車スペースを探すことも大変な状況である。なんとか公共交通機関を利用してもらいたいと思うが、便数が少ないせいか、乗車率がとても低い印象がある。

(本間委員)

昨年12月に、土日祝日の試験運行をPRするため、サティにて豚汁サービスなどを行った。来客者の現状として、沿線以外の遠方から来る方が多かった。また、沿線の高齢者は、家族の車に同乗してくる方が多く、バス利用には結びつかなかった。